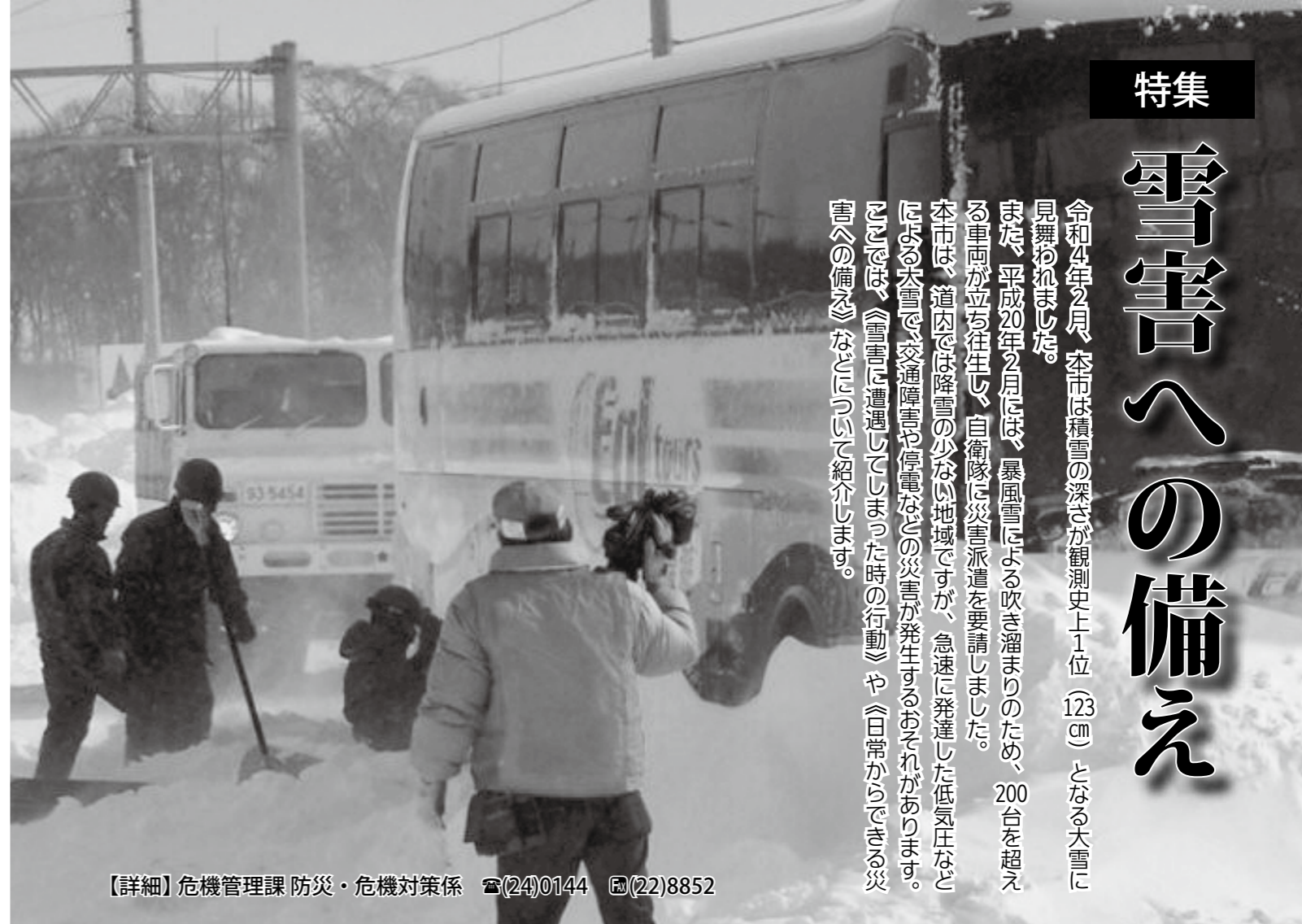


雪害への備え

令和4年2月、本市は積雪の深さが観測史上1位(123cm)となる大雪に見舞われました。
 また、平成20年2月には、暴風雪による吹き溜まりのため、200台を超える車両が立ち往生し、自衛隊に災害派遣を要請しました。
 本市は、道内では降雪の少ない地域ですが、急速に発達した低気圧などによる大雪や、交通障害や停電などの災害が発生するおそれがあります。
 ここでは、『大雪』に遭遇してしまった時の行動や『日常からできる災害への備え』などについて紹介します。



【詳細】危機管理課 防災・危機対策係 ☎(24)0144 ☎(22)8852

！ 暴風雪などの雪害に遭遇したら…

屋外にいるとき

お店や人家など、建物の中に移動し、天候の回復を待ちましょう。

《理由》

- ・ 視界不良（ホワイトアウト）により、歩行困難になることがあります。
- ・ 強風で看板などが飛んでくる場合があります。
- ・ 車からは、視界不良で歩行者が見えにくくなります。
- ・ 体温が奪われて低体温症となり、身動きできなくなる恐れがあります。



家の中にいるとき

玄関、FF式暖房機の給排気口などの除雪をこまめに行いましょう。

《理由》

- ・ 玄関が雪でふさがれて、開きにくくなる場合があります。
- ・ FF式暖房機などの給排気口がふさがれて、一酸化炭素中毒を起こす危険があります。



車を運転しているとき

気象情報や道路情報を確認し、道の駅やコンビニなどで天候の回復を待ちましょう。

《理由》

- ・ 立ち往生して、後続車から追突されてしまう危険があります。
- ・ 対向車や歩行者が見えにくくなり、交通事故を起こす危険があります。



車内で救助を待つとき

原則エンジンは停止し、防寒着、毛布などで体温の低下を防ぎましょう。やむを得ずエンジンをかけるときは、排気管の周りや車周辺の雪を取り除き、風向きにも注意しましょう。

《理由》

- ・ 排気ガスにより、一酸化炭素中毒を起こす危険があります。
- ・ 風向きなどの条件によっては、窓を開けていても車内に排気ガスが入り込み、閉めているときよりも一酸化炭素中毒の危険性が高くなる場合があります。

※ 天候の急変などで車内で困らないために

防寒着、長靴、手袋、スコップ、牽引ロープなどを車に常備するとともに、十分に燃料があることを習慣にしましょう。



知 っておきたい注意報・警報の種類と発表基準値（石狩南部：千歳市）

《大雪注意報》

大雪により**災害**が発生するおそれがあると予想したときに発表。



平地 20 cm / 12 h の降雪
(山間部 30 cm / 12 h)

《大雪警報》

大雪により**重大な災害**が発生するおそれがあると予想したときに発表。



平地 30 cm / 6 h または
40 cm / 12 h の降雪
(山間部 50 cm / 12 h)

《風雪注意報》

雪を伴う強風により**災害**が発生するおそれがあると予想したときに発表。



平均風速 11 m / s
(雪による視程障害を伴う)

《暴風雪警報》

雪を伴う暴風により**重大な災害**が発生するおそれがあると予想したときに発表。



平均風速 16 m / s
(雪による視程障害を伴う)

(h：時間、s：秒)

※ 気象台から「数年に一度の猛ふぶき」や「外出は控えてください」のキーワードを使った情報が発表されたら要注意。

日常からできる災害への備え！

● 情報収集のすすめ（正しい情報を入手しましょう）

市は、災害が発生したり、発生するおそれがある場合、防災行政無線・緊急速報メール・SNS・広報車・市ホームページなどで災害に関する情報を伝達します。災害時には最新の情報に基づいて行動することが大切です。避難指示や避難場所開設などの情報を早く入手できるように準備しておきましょう。

情報を入手する準備（各種防災情報）

千歳市メール配信サービスおよび SNS からの情報



メール配信サービスのほか、SNS（Facebook・X・LINE）より、緊急性の高い情報や防災・減災情報を随時配信しています。二次元コードから各種登録・閲覧できます。

札幌管区気象台からの情報【お問い合わせ先：札幌管区気象台天気相談所 ☎011(611)0170】



気象台では、猛ふぶきを予想した場合、《暴風雪警報》や《暴風雪に関する気象情報》を発表します。日ごろから気象情報を確認し、猛ふぶきに備えてください。

ワンポイントアドバイス



避難時は危険に備え、両手が使えるリュックサックが便利

● 避難編 ●

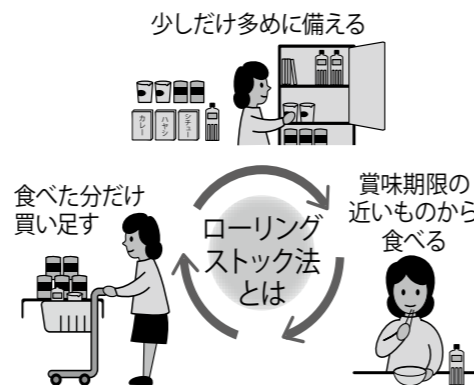
《非常時の持出品リスト》

- | | |
|-------|--|
| 貴重品 | <input type="checkbox"/> 現金 <input type="checkbox"/> キャッシュカード <input type="checkbox"/> 携帯電話 <input type="checkbox"/> 預金通帳 <input type="checkbox"/> 印鑑 <input type="checkbox"/> 免許証 <input type="checkbox"/> 健康保険証 <input type="checkbox"/> マイナンバーカード |
| 非常食 | <input type="checkbox"/> 飲料水（ペットボトル） <input type="checkbox"/> 栄養補助食 <input type="checkbox"/> 菓子類 |
| 救急医薬品 | <input type="checkbox"/> お薬手帳 <input type="checkbox"/> 持病薬 <input type="checkbox"/> 常備薬（風邪薬・傷薬など） <input type="checkbox"/> ばんそうこう <input type="checkbox"/> 消毒液 <input type="checkbox"/> マスク <input type="checkbox"/> 除菌シート |
| 生活用品 | <input type="checkbox"/> 衣類 <input type="checkbox"/> 雨具 <input type="checkbox"/> タオル <input type="checkbox"/> ティッシュ <input type="checkbox"/> 軍手 <input type="checkbox"/> ライター <input type="checkbox"/> 生理用品 <input type="checkbox"/> スキンケア用品 |
| その他 | <input type="checkbox"/> 携帯ラジオ <input type="checkbox"/> 充電器 <input type="checkbox"/> モバイルバッテリー <input type="checkbox"/> 懐中電灯 <input type="checkbox"/> ホイッスル <input type="checkbox"/> 電池 <input type="checkbox"/> 筆記用具 |

いざという時のために、上記のリストを参考に普段から持出品を準備しておきましょう。赤ちゃんがいる場合、介護を必要とするお年寄りがいる場合など、必要となるものはさまざまです。家族に合わせた準備をしておきましょう。

● 食事編 ●

循環型備蓄（ローリングストック法）を活用してみましょう。



普段から使用する食品を多めに備蓄しておき、消費したらその都度補充することで、常に一定の食品を自宅内に備蓄することができます。これが《ローリングストック法》です。

● 在宅避難のすすめ（自宅が一番安心できる避難場所です）

避難とは《難》を《避ける》ことです。避難する場所は、避難所のほか、《在宅避難》、《親戚・知人宅》など、さまざまな場所があります。たくさんの人が集まる避難所では、環境の変化などによって体調を崩す人もいます。自宅に被害がなく、自宅周辺に水害や土砂災害などのおそれがない場合は、普段の生活に近い環境で過ごすことができる《在宅避難》を考えてみましょう。

ここでは、在宅避難のポイントとなる《食事》《暖房》《トイレ》について、普段から準備しておいたほうがよいものを紹介します。

食 事



カセットコンロ

- 停電やガスの供給が停止した場合でも調理することができます。

水

- 飲料用と調理用だけで1人1日3リットルの水が必要です。最低3日分は常備しましょう。

災害用備蓄食

- 缶詰やアルファ化米（お湯や水を注ぐだけで食べられるもの）など、色々な種類があります。

暖 房



ポータブルストーブ

- 灯油・カセットボンベタイプなどがあります。停電時は電気動く暖房機は使用できません。

湯たんぽ

- 体をじんわりと温めてくれます。使用時は低温やけどに注意が必要です。

使い捨てカイロ

- 寒い時期は、ポータブルストーブとカイロを常備することをおすすめします。

ト イ レ



簡易トイレ

- 水道管などが破損するとトイレが使えなくなります。簡易トイレの準備をおすすめします。

非常用トイレ袋

- 自宅トイレが破損していなければ、トイレに被せて用を足すことができます。

凝固剤

- 抗菌性・消毒性があり、使用後の臭いを抑え、ゼリー状に固めて処分することができます。

このほか、停電時を想定した《明かり》の確保も必要です。ライトや乾電池は準備していますか？災害時の備蓄について、今一度確認してみましょう。

